



インスピレーションに

2018~19年度

D-2700

No. 29

2019年5月17日

# 小倉ロータリークラブ 週報

**R I テーマ：“インスピレーションになろう”**

R I 会長：バリ・ラシン 氏

(所属：バハマ、イーストナッソー RC)

**地区テーマ：“寛容と思いやり そして和の心”**

地区ガバナー：岡野 正敏 氏(所属：門司西 RC)

**クラブテーマ：“力を合わせて”**

会長 角南 雅徳／幹事 坪根 悟郎

**表紙写真(テーマ/夜の門司港駅)**

門司港駅シリーズ第3弾；三月下旬、丸一週間、春の門司港で毎日、関門海峡を眺めながら過ごしました。新装オーブンしたばかりの門司港駅を中心に写真を撮ってみました。門司港3部作は今回で終了です。

【撮影：天ヶ瀬会員】

**例会場** リーガロイヤルホテル小倉 TEL 093 (531) 1121

«報告に関して、敬称略»

**例会日** 毎週金曜日 12:30~13:30

事務局 e-MAIL : krpc@rid27.jp

**事務局** 北九州市小倉北区浅野2-14-2 リーガロイヤルホテル小倉2F TEL (531) 1727 FAX (522) 4333**会報・雑誌 委員会** 委員長：豊川 智彰

副委員長：井芹 重文

委員：井手 孝幸・宮島 俊司・城 健一郎・伊井 雅明・弓削 康弘・辰巳 和正

四つのテスト 1. 真実かどうか 2. みんなに公平か 3. 好意と友情を深めるか 4. みんなのためになるかどうか

**本日の例会 第3401回**

- ・国歌斉唱
- ・ロータリーソング “奉仕の理想”
- ・地区研修・協議会報告

**第3399回 例会 記録****4月26日（金）普通例会**

- ・ロータリーソング “四つのテスト”
- ・卓話 榊竹中工務店 北九州営業所長  
井手 孝幸 氏

**会長の時間****角南 雅徳 会長**

平成を振り返ると、まずソ連が崩壊し、アメリカ一極体制時代が始まります。アメリカの中東諸国への介入に対する反発のため、平成13年頃からは、イスラム過激派による自爆テロが起り、対テロ戦争に繋がります。日本では、平成3年にバブル経済が崩壊しました。日本社会の常識であった終身雇用・年功序列が崩れ、内需縮小・デフレ期に入ります。平成7年には、阪神淡路大震災・オウム真理教の地下鉄サリン事件といった世間を騒がす事件が起きました。平成13年~19年までは、

小泉内閣による「聖域なき構造改革」が行われ、経済は好況期といわれつつも、実感なき経済成長とも言われました。この頃から、中国の経済発展が急激に進み、日本の貿易相手国が、アメリカから中国に代わっていきます。平成20年以降は、リーマンショック等、世界同時不況になります。経済のグローバル化の為、アメリカで起きた事件が日本経済にダメージを与え、企業倒産が相次ぎ、非正規雇用が増えます。格差社会と言われ、新自由主義に対して批判もでました。安倍首相は、大規模な金融緩和による景気回復策をとる一方、外国人観光客誘致を進め、今や日本は、空前の観光立国になりました。平成23年には、東日本大震災が発生します。福島原子力発電事故が起き、原子力発電所の安全性が問題となり、原子力発電の停止のため電力不足が発生しました。電力の安定供給と原子力発電の安全性をどうバランスを取るかは難しい問題です。平成の終わりになると、人口の高齢化・働く人口の減少により、企業は従業員の確保が難しい時代になります。労働力は外国人頼りになりつつあります。またSNS文化が進み、現在では、情報の多様化・双方性化の時代です。市民が情報の発信者となり、市民の間で情報のやり取りや議論が行われ、これをマスコミが後追いしているような状況です。平成という時代は、ざっとみて、こんな時代でした。今後もグローバル経済・人口減に伴う外国人問題といった難しい課題はありますが、次の時代が、明るく穏やかな生活が送れる時代であってほしいと願います。

## 幹事報告

坪根 幹事

・本日、例会終了後に、「次年度の役員及び委員長・副委員長会議」を行います。30 分程ですので、ご担当の方はそのままお残り下さい。

・次年度の各委員長には、活動計画書ご提出のお願いを配布しています。次年度の会長及び各委員長は、活動計画書と希望予算の提出をお願いいたします。

・来週の例会は、祝日の為お休みです。

・その次の週の5月10日（金）は、例会変更のためお休みです。12日（日）は清掃登山ですので、ぜひご出席下さい。5月7日（火）が締切です。集合場所は、門司港のノーフォーク広場です。

## 出席報告

佐竹 委員長

2018年7月1日：64名でスタート

	会員数	出席者数	メークアップ <sup>°</sup>	出席率
当日の出席	62名	37名	—	68.52%
先週の出席	62名	35名	25名	96.55% 修正後

◆ゲスト 0名

◆ビジター 0名

## ニコニコ献金

南浦 SAA

7,000円：累計金額 356,820円

原田 光久 君

週報第27号を届けに、木曾長元会員のところに伺いました。大判のキレイな写真を2枚預かりました。これを週報に載せられないか、ご検討願います。前立腺癌の検査を泊まり込みで行い、全く陰性との判定を得られたとのこと。奥様とご一緒に、お茶・お菓子をたくさん出して下さり、とても楽しみました。



二村 吉則 君

西日本新聞社主催の「能」の集まりが湖月堂で開かれ、夫婦で参加しました。どうも有り難うございました。

金子 雅史 君

転勤により、本日が最後となります。ありがとうございました。



## 会員卓話

株竹中工務店 北九州営業所長 井手 孝幸 氏

### 『竹中大工道具館』



竹中工務店につきまして、ホームページや情報誌などで、東京タワーの竹中、ドームの竹中などと呼ばれておりますが、あまりその内容について知られていないのが実情かもしれません。今回は、弊社の施工実績である作品を通して竹中工務店をご説明するのではなく、その他の面からお話をさせていただきます。

弊社は、1610年（慶長15年）織田信長の元家臣 初代竹中藤兵衛正高が、名古屋で創業しました。1899年（明治32年）14代竹中藤右衛門が神戸に進出し、この年を創立第一年としております。本年2019年は創立120年、創業409年を迎えます。更によく使われる「工務店」という言葉を作り、社名としたのは弊社です。設計と施工は切り離せないとの考え方から「工務」を掲げ、お客様ありきの仕事であるという考え方から「店」を用いています。

弊社のメセナ活動についてご紹介します。メセナ活動を「企業が行う社会貢献活動」と広義で解釈し使用されることが増えました。弊社も、文化活動の主催、資金の提供、非資金援助、文化施設運営、コンクールなどの顕彰事業、企業財団などを行っております。まずギャラリーA クワッドという展示ホールを弊社東京本店の1階に構え、広く一般にも公開しております。2014年メセナ大賞を受賞いたしました。

次に、竹中育英会です。昭和36年12月に設立され、先般50周年を迎えました。更に、海外のNGO活動に関して、弊社有志メンバーがボランティアとして開始した活動を基軸に、ヒマラヤの学校建設を進めております。

最後に、竹中大工道具館をご紹介します。写真の大工道具館は2014年に建築されたのですが、最初は昭和59年（1984年）に開館。次第に消えていく古い時代の大工道具、優れた大工道具を収集、保存し、研究・展示を通じて後世に伝えていきます。ものづくりの礎として誇り高く、凛とした趣をもち、素晴らしい作品を作り出す大工道具をこれからも守り続けてまいります。一度神戸にお越しの節にはお立ち寄りのほど、お願ひ申し上げます。

### 米山記念奨学会「特別寄付金」

#### 例会当日寄付者

・原田 光久 ・合馬 誠一

合計 累計金額（2018-19年度）

8,000円 465,000円

## 地区大会表彰



35年間永年皆勤表彰

村上 充生 会員



25年間永年皆勤表彰

杣 巖 会員

## 退会の挨拶

金子 雅史 会員

(株)三井 UFJ 銀行 北九州支店長



ロータリー歴 (1年3ヶ月)

2018年1月19日～

2019年4月26日

この度、目黒支店兼目黒支社の支店長兼支社長を拝命し、東京へ転勤することになりました。当クラブに入会する際は、銀行から「銀行にどういうメリットがあるのか」という質問がありました。「銀行の支店長として、職業を通じて社会に貢献する理念を学びに行くのだ。メリットとかデメリットの話では無い」と、6ヵ月程銀行と喧嘩しました。そのお陰で、実際入会して、それ以上のことを学ばせていただきました。皆様と接する全てが勉強になり、全てが楽しい時間となりました。目黒支店はRCに入会していないそうなので、また銀行と大喧嘩しようと思っています。目黒支店は、北九州の3倍近い規模です。白銀地区もあり、私のキャラクターに合わない土地なので、緊張感を持って対応していこうと思います。単身赴任は解消となり、大学生の子供は一人暮らしなので、18年ぶりの夫婦二人の生活になり、目黒支店に行くよりも緊張しています。後任もぜひ入会させてほしいと言っていますので、よろしくお願いいたします。実は、こちらでの業務を今日の例会の為に引き伸ばしました。皆様に直接お礼を言うことが出来て嬉しいです。このままこれから空港に向かいますので、北九州の最後の活動がRCの例会となり、本当に幸せです。ありがとうございました。

## 地区大会 報告

日 時：4月 20日(土)、21日(日)

場 所：リーガロイヤルホテル小倉、ソレイユホール

ホスト：門司西 RC

参加者：天ヶ瀬夫妻、荒木、伊井、伊与田、合馬、大木、加藤(守)夫妻、小島、城、菅原、角南、杣、坪根、中村、原田(鉄)、二村、原田(光)夫妻、宮島、村上(充)、八尋、佐竹、宇城夫妻、高山、豊川、福島、松永、本村、弓削、事務局



私は2日目のみの参加でしたが、会場には第2700地区より61クラブの沢山の人が集まり、大きな大会だと改めて感じました。まず、岡野ガバナーによる地区現況報告では、3つの目標(クラブサポートと強化、人道的奉仕の重点化と増加、公共イメージと認知度の向上)の確認と現状の話があり、概ね順調だが新会員増加や寄付金アップは今後の課題とのことでした。その後、李鋼浩氏(イ・カンホ、KC大学経営学部教授)による、米山記念奨学生ホームカミング講演がありました。日本へ留学で来ていた25年前～現在まで、隣国の日韓は国際感情を越え、文化・旅行等の草の根交流は拡大しており、今後とも日韓の架け橋としてやっていきたいとの言葉が印象的でした。午後に入り、記念講演がありました。国際政治学者の三浦瑠麗氏が「日本を取り巻く国際情勢」との題で話されました。島国の日本は自分たちの視点で世界を見る傾向にある、世界は新冷戦にはなりにくい、日本は依存を下げリスク分散しながら今後自立性を高めることが必要等を話されました。色々な視点があり、うなづける部分もありましたが、流動的な情勢の中ではその都度話し合い解決や臨機応変の部分も大きいと思います。終盤となり、大会決議委員会報告では、原田光久委員長により11の大会決議が提案され承認されました。参加クラブ紹介では各クラブが順番に呼ばれ、小倉RCも皆で元気に起立し手をあげ発声しました。ご参加の皆さん、おつかれさまでした！年に一度の大会ですが、ロータリーの和や広がりを大いに感じられる場でした。来年は小倉RCホストでのIM後の大会です、多くのご参加をお願いいたします。

【報告者：合馬】

## 洗心会 報告

日 時：5月9日(木) 18時30分～



場 所：福銀北九州クラブ

参加者：角南、坪根、青木、赤坂、天ヶ瀬、荒木、  
井芹、合馬、河野、児嶋、城、榎、高山、  
濱田、福島、二村、松田、松永、宮島、  
八尋、山口、山本(雄)、篠原、事務局  
橋爪様(福岡銀行)、寺澤様(三菱UFJ銀行)



小倉RCとしては令和改元後初の公式行事であり、今回は26名の参加となりました。松田会員の司会進行によってスタートした会は、まず松永親睦活動委員長より開会のご挨拶を頂いた後、荒木ロータリー情報委員



長より「周年事業のすすめ」という題目で講演頂きました。マニエリ化しがちなロータリー活動に効くカン

フル剤が周年事業であるとのお話を頂き、小倉RCとしても創立70周年を迎えるにあたって、改めて周年事業への取り組みの重要性を認識しました。続いて懇親会に移るにあたり、合馬会員による「令和、平和、小倉RCの和」という名調子の乾杯発声を頂きました。会の中程度で、新会員の挨拶として篠原会員(野村證券)、入会前ながら橋爪様(福岡銀行)と寺澤様(三菱UFJ銀行)より自己紹介をして頂きました。また、今月末にて退会することとなった青木会員からも、小倉RCでの思い出話を含めた心温まるご挨拶を頂きました。当日のメニューは佐賀牛のすき焼きということで、会員がそれぞれ持ち寄った酒、焼酎も多数にのぼり、和やかな雰囲気で会は進行してきました。会場を提供して頂いた橋爪様からは、ご厚意によりビール26本をご提供頂き、心より感謝申し上げます。楽しい時間が過ぎるのは早いもので、定刻の2時間を迎えて、会員同士の友好を深め、次回の開催を楽しみにしながらそれぞれ帰路につきました。

【報告者：城】



### 寄贈酒

- |                      |                 |
|----------------------|-----------------|
| ・角 南：電光石火            | ・青 木：五代目 龍平     |
| ・赤 坂：麒麟              | ・天ヶ瀬：島のナポレオン    |
| ・荒 木：茜霧島             | ・井 芹：純米酒        |
| ・合 馬：一滴専心            | ・河 野：佐藤         |
| ・児 嶋：鳥飼              | ・城 一：土佐鶴        |
| ・榎 一：雅の刻             | ・福 島：槽口に滴り落ちた原酒 |
| ・二 村：寒山水             | ・松 永：閻魔         |
| ・山 口：大吟醸 北雪          | ・篠 原：黒霧島        |
| ・寺 澤：八海山             |                 |
| ・橋 爪：ビール 26本、宝山 芋麹全量 |                 |

## 第3400回 例会 記録

5月12日(日) 奉仕例会  
・春の清掃登山例会(世界平和パゴダ)

### 会長の時間

角南 雅徳 会長

令和に入って最初の例会です。天気にも恵まれて絶好な清掃登山日和です。今日は、和布刈公園から世界平和パゴダを目指します。秋の風師山の登山より楽なルートですが、前回より車の通行が多いところを掃除します。途中には、歩道のないところや道の狭いところもあります。先だって琵琶湖のほとりで発生した事故のこともありますので、ゴミ拾いも大切ですが、皆様、くれぐれも車については十分に注意してください。頂上では、皆と共に、心地よい汗をかきたいと思います。

### 出席報告

佐竹 委員長

2018年7月1日：64名でスタート

	会員数	出席者数	メークアップ	出席率
当日の出席	61名	16名	—	32.00%
先週の出席	62名	37名	22名	94.92% 修正後

◆ゲスト 13名

- ・IAC(小倉工業高校：顧問1名 生徒11名)
- ・会員家族 1名  
(角南会長ご夫人)

◆ビジター 28名(サインのみ)

## 春の清掃登山報告

当団は青天に恵まれ、清々しい風の中での登山となりました。二村 社会奉仕委員長のお話のあと、山口会員主導によるストレッチ体操をし、世界平和パゴダをめざしました。最初はあまりゴミがありませんでしたが、側道に沢山のゴミがあり、途中まで結構な量のゴミが集まりました。展望台で休憩をし、めかり公園でお弁当を美味しく頂きました。公園に虫が多く、皆さん格闘していました。昼食後、世界平和パゴダを拝観し、お

参りました。そこで解散し、希望者は地ビール工房で懇親会を行いました。色々な種類の地ビールを味わい、中でも復刻版の“桜ビール”が好評でした。参加者の皆様、お疲れさまでした。 【報告者：合馬】



### F テーブル会合 報告

日 時：5月 14 日 (火) 18 時 30 分～

場 所：湖月堂

参加者：坪根、八尋、濱田、杣、宇城、松永、山口、大木



令和初のテーブル会合を行いました。隣の部屋では、プロバスの例会が行われていました。杣会員の「女王蜂の今日的役割(??)」の話で大変盛り上りました。 【報告者：宇城】

### 【次回例会予告】

- 5月 24 日 (金) 普通例会  
・ロータリーソング “我らの生業”  
・青少年関係の卓話

第 2700 地区ロータクトーク

代表 村上 弘晃 氏

『ローターアクトクラブの活動紹介』

